

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 播陽灘	代表者	田上 龍太郎	法人・事業所の特徴	<p>当法人は、当事業所以外に特別養護老人ホームとグループホームを運営しており、グループ会社では、居宅介護支援事業・訪問入浴・福祉用具・デイサービス・地域包括支援センターがあり幅広く介護分野に携わっている。また介護リフトや福祉用具を活用して利用者と職員に優しい職場を目指している。</p> <p>当事業所は、灘のけんか祭りでは有名な姫路市木場の村の中にあり、近くには木庭山やヨットハーバーがある自然豊かで閑静な場所にある。当事業所の地域交流スペースでは、いきいき百歳体操・出張喫茶を開催し地域住民にもご利用いただいています。</p> <p>利用者は同法人の特別養護老人ホームでの行事に参加したり、地域住民と交流を図っている。小規模多機能の訪問業務では配食サービスを含んで定期的な見守り(安否確認)や不安時の電話対応や急な通い・訪問・泊まりにも対応して柔軟なサービス提供を行っています。</p>
事業所名	小規模多機能ホーム いやさか	管理者	田上 雄太郎		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	1人	0人	1人	1人	3人	1人	0人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 継続して事業所評価では、項目に対しての事前説明を行ってから評価する。 地域かかわりシートでは項目に対しての説明文を別紙に配布し、評価していただく。 	<ul style="list-style-type: none"> 新規職員も在籍している為、例年通り項目に対しての事前説明を行った。対利用者だけでなく、地域との関係等にも意識する必要性を感じてもらえたと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 委員の皆様には、自己評価の集計を参照いただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続して事業所評価では、項目に対しての事前説明を行ってから評価する。 地域かかわりシートでは項目に対しての説明文を別紙に配布し、評価していただく。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 今まで現場にあったサイドテーブルなどの備え付けの備品を使った事業所の環境作りから、デザイン性に富んだ開かれた家らしい空間づくりを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 玄関周りは観葉植物やテーブルを設置して、雰囲気作りを行って事務的な雰囲気がなくなったと考える。ユニット内は来年度、予算建てをして、計画的に行っていく予定 	<ul style="list-style-type: none"> アットホームになってるね。図書スペースも良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ユニット内の設えを落ち着ける空間・活動する空間等、シーンや利用者の気分に合わせて使い分けできる空間に変えていく。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 開設して6年目となり、いやさかの強みや各サービスのメリットなどを自分たちの言葉で表現できるようになっているので、新しくパンフレットを作成して、地域などに広報していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 作成中 	なし	<ul style="list-style-type: none"> コンセプトや播陽灘の想いを見える化して、パンフレットを完成させて病院及び診療所・居宅・地域包括支援センターへ広報する。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの情勢を鑑みながら、通いサービスの一環で少しずつ外出イベントの機会を増やしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外出イベントは新型コロナウイルス・インフルエンザに考慮するため、行っていないが、契約している食品会社の協力のもと、天ぷらランチ会や手作りうどん体験などのイベントをいやさか内で行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろ形を変えながら「楽しみ」を作るのは大変だと思うが、よくやっていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通いサービスの一環で少しずつ外出イベントの機会を増やしていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模多機能利用者の家族様に委員となっていただけるよう、促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の感染状況等を鑑みて声掛けを行わなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度でも問題ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模多機能利用者の家族様に委員となっていただけるよう、促す。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・避難確保計画は姫路市のフォーマットに沿って完成させたが、実際の避難が必要な時に活用できるよう編集する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期研修時、見直しを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・BCP、避難確保計画を盛り込んだ防災訓練を行うにあたり、計画自体の内容の変更や修正箇所がどれぐらいのボリュームかを確認しながら、研修を行う。